

“顎偏位”を正してからだるところに健康と美を  
ー明日からいきる咬合医療ー

会期: 2013年7月6日(土)・7日(日) 会場: 札幌コンベンションセンター

札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

ご挨拶

マスクミに「顎偏位(あごずれ)」、「首こり」が取り上げられ、世間に「顎偏位(あごずれ)」、「首こり」が認知されるとともに本学会も広く知られるようになってきています。そこで今回の学術大会は、「顎偏位(あごずれ)」、「首こり」と言うキーワードをより広め、より理解してもらい、本学会のさらなる発展を目的として開催されることになりました。本大会では、最高の学識やご経験を有し素晴らしい業績を上げておられる講師の先生をお招きし特別講演、シンポジウムを行うとともに、明日からの臨床にすぐ取り入れられる本学会員による課題講演、従来の限界運動に基づく考えとは異なる咀嚼運動が可能な補綴物作製の技工ハンズオン、スタッフプログラムなど多岐にわたる内容で開催されます。全てにおいて充実しており、必ずや参加された皆様方にご満足いただけるような素晴らしい学術大会となるものと思っております。どうぞ皆様、進化し続ける丸山咬合医学、咬合医療を、ご自分の目でご確認ください。そして、ご一緒にこの咬合医学、咬合医療と共に歩んでいきましょう。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

会長 寺内達成、鴫崎和義、吉村義孝  
大会長 横山尚弘

学術大会内容: 特別講演・シンポジウム・教育講演・理事長企画リサーチ・課題講演・ポスター発表  
技工ハンズオン・スタッフプログラム・咀嚼技工コンテスト

◆ 特別講演

「人間の進化: 移動様式と食性の変化」  
馬場悠男(国立科学博物館名誉研究員)

◆ シンポジウム

「からだところの不調をとり 脳が若返る健康法」  
橋本正次(東京歯科大学法人類学教室教授)  
澤口俊之(人間性脳科学研究所所長、  
武蔵野学院大学・同大学大学院教授)  
丸山剛郎(大阪大学名誉教授、  
日本咬合臨床研究所所長)

◆ 教育講演

「顎ずれの原因の考察」 小西康三  
「なぜ丸山咬合医学で顎椎アライメントが改善するか  
ー立位レントゲンより考察ー」 栗本武俊  
「顎ずれで生じる身体の不調  
ー脊髄神経から分岐する神経で考えるー」 横山尚弘  
「顎ずれと歯列弓形態の不調和に関する考察」 青木隆典  
「全身健康治療の総集編」 吉村義孝  
「咀嚼運動治療の総集編」 富安 誠  
「丸山咬合医療を導入した歯列矯正治療」 戸栗和慶  
「丸山咬合医療により得られる美容」 北村幹夫  
「顎ずれを防ぐ  
少数から多数までの咬合構成(技工編)」 鰐淵正機

お申込み・お問い合わせ先

大会事務局 椎木歯科医院 (担当: 椎木雅和)

〒353-0004 埼玉県志木市本町6-4-1

FAX: 048-471-7267 TEL: 048-471-0036

学会HP (<http://www.jao.gr.jp/>)

お振込先: 紀陽銀行 御坊支店 普通1202269

口座名: 日本咬合学会第18回学術大会

申込書の送付とお振込で参加登録完了となります。

領収証は振込用紙の控えをもって換えさせていただきます

参加登録費		事前	当日
会員	歯科医師	24,000	26,000
	技工士	10,000	12,000
	スタッフ	5,000	5,000
非会員	歯科医師	26,000	30,000
	技工士	12,000	12,000
	スタッフ	5,000	5,000
懇親会費		7,000	7,000
昼食(事前のみ)		1,500	

NPO法人日本咬合学会 学術大会 参加申込書 FAX 048-471-7267

◆振込( 月 日 金額 円 済・予定) 昼食 6日 個 7日 個 ◆懇親会参加 名(数字と○を付けてください)

フリガナ	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員	<input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 技工士 <input type="checkbox"/> スタッフ	〒	フリガナ
氏名		住所		医院名
TEL		FAX		E-mail
フリガナ				
同伴参加者名				